

疾走する三人の映像作家が自作を語る

世界のトップディレクターがそれぞれの自作をベストセレクションしたロード「DIRECTORS LABEL」が来年発表される。ここではそこに収められる予定のハイライトの一部を抜粋して掲載する

LAのストリートなら自由を スパイク・ジヨーンズ

僕はやむやみ雑誌の編集部で働きながら、自分でスケーターたちの写真やビデオを撮っていたんだ。それがきっかけでソニック・ユースのミュージックビデオに使うスケーターのフリーティングを撮つてほしいと頼まれて、その一年後にもキム・ゴードンからMOSの共同監督を頼まれた。おそらくキムが一度も声をかけてくれなかつたら、僕はビデオの監督にはなつてしなかつたと想つよ。以来、いろいろなビデオを撮つてきたけれど、好きなバンドのビデオをたくさん作つてもらつたことが、本当にうれしいんだ。

例えはピースティ・ボーイズとの仕事で印象的だったのは、ボーカルのアダム・ヤウチが大規模な予算を嫌つたことだ。「僕らがロッドロールできない予算ではやらな

じ」って。ピースティ・ボーイズは、全部自分たちで、仲間と一緒に作るというやり方だったので、当時僕が所属していたナショナル・ファイナルも、最後には彼の言うことに従うしかなかつた。実際の撮影も、普通は予算に組みこまれる機器とかケータリングとかトレー等々とか、そういうものまで全部切り捨てたんだ。衣裳の話になつて、僕が「知り合ひなら、一日百ドルでやつてくれる」と言つたんだよ。それがケイシー・ストームで、実はそれが彼の初仕事だったんだけど(笑)、とても使いきれない量の服を用意してたよ。フリンジのついたスエードのジャケットにパンツ、それにカウボーイ・ハット。まさに監修監督が着そうな服ばかりで、衣裳からいろんなアイデアをもらつたよ。以来僕には、「アルコヴィ・ソウル・穴」や「アダブテーション」でも衣装を担当してやつてもらつてるんだ。

WAXの「California」で、全身に包まれた男がサンセード・ストリートを駆け抜けしていく映像は、自分でも緊張した体験だつた。ある日電話がかかってきて、一週間以内にビデオを作つて、一週間以内にはオハヨアしだと言われたんだ。その電話の途中で、LAの通りを火ダラマで走る男をスロー・モーションで撮影するというアイデアが浮かんだ。さらにそれを見てもらつたのが、クルマに乗つた小さな女の子。というアイデアは、クルマでロケハンしてくると

Spike Jonze

僕はそもそも解剖が好きなんだ クリス・カーラガム

初めてオウテカの「ヨーロッパビデオを撮つたのは九五年。その頃は特殊効果の仕事に退屈し始めていて、徐々に写真と映像への興味が増してきた時期だつたんだ。もともと映画への興味が強くて、キューブリックの「A・I」の特殊効果工房チーフの仕事を依頼されたときは、うれしくてすぐに引き受けたんだけど、一年間この映画に觸れてつらあらだ、頭にあつたのは、ビデオの仕事がしたらもういいだつた。だからその仕事をしながら、空いた時間にはオウテカのビデオを撮つただよ。

当時は音楽にタイムラグを合わせて、とにかく動くものを作りだらう著々に取り憑かれていた。ほんやりと機械の塊が音に合わせて分解してらぐらぐらイメージだけがあつて、で、うちの裏庭にらぐらる

人の手は本当に應応して進化した ノル・エドワード

僕とヨークは、どちらの面親ややりたいことを何でもやらせてくれるという環境で育つたので、初めから語り合えるひとがいるらうありました。ヨークと仕事をすることは、彼女が六〇分かそれ以上のアイデアを出してくるべです。彼女はものすごく抽象的な、そして靈感に溢れた言葉を使います。例えば「Human Behaviour」なら人間の行動とか性格に関する歌だから、ビデオでは人間がいかに狂つているかわかるように動物を使つたらどうかとか。実際、それが僕と彼女のコラボレーションの出発点になりました。

これはユーロ・ノル・エドワードの「霧につつまれたハリネズミ」の脚本も書いています。僕が世界で一番好きな映像のひとつで、霧の中にらぐらぐらな気持ちになるか

な機械の部品を集めて模型を作り、それを撮影したフリーティングビデオを作つてみたんだ。それを見たハッシュメンバーが、ものすごくつかりしたのを覚えているよ。(笑) そのとき、あいまいなアイデアをちゃんととした映像にまで持つてくのが、最低限ディレクターがしなくてはいけないんだだといつのがわかつたんだ。だからアブストラクトな映像を制作するという野望は、とりあえず治てるこにしたんだよ。もちろんもつと経験を積んでから、もう一回挑戦する気持ちを持つたまおね。

僕は以前、彫刻をやつていたけれど、そもそもは解剖が好きなんだ。特に人間のからだの構造に興味があつて、絵画や彫刻もそれで始めたし、からだに関する映像を作る理由もそこにある。彫刻になら要素は、音だ。音も大好きで、映像と音楽をじっくり鑑めたとき、これは自分のものだつて感じたんだ。

マドハナの「Frozen」は、僕が初めてビッグ・アーチストと一緒にやつた仕事だ。彼女は「Come To Daddy」のビデオにだれよりも早く反応して、彼女から会いたいと言つてくれただんだ。当初の構想では、モーション・ロッドロール。カメラを使って、砂漠でくりこアーティスト撮影をする予定だつた。でもモーションが来て、機材は水没しへなるし、四日間の撮影期間も一日に削られてしまつて、かなり変わつてしまつた。

Chris Cunningham

を延々と描いた映画です。撮影はパリから百キロほど離れた森の中にあるスタジオで行い、持ち主の友だちと一緒に準備をしました。だからしまつちゅうパリから森まで夜、クルマを走らせて、木の枝や葉を通り抜けて通つたんです。そのときくソドライトに引き寄せられてフロントガラスにあたる小さな虫とか、樹を照らすライトとか、夜の空の暗い青の色、そいつたものにもインスピライアされました。

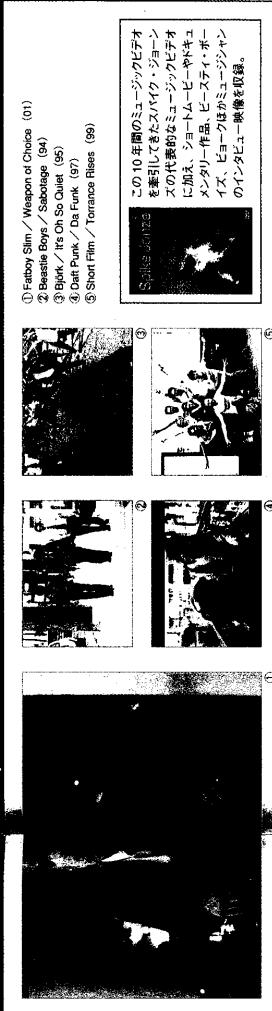
ビデオができるからだと、僕はかなり落ち着かなかつたんですね。彼女がその後すぐソニーに出てしまい連絡がつかなかつたため、反応がわからなかつた。結局それからビデオを六本一緒に作つたので、たぶん気に入つてくれただんだと思います。

*
ケミカル・ブラザーズの「Let Forever Be」は、初めからビデオ撮影したらと思つていた作品です。七〇年代にイギリスで放映されたらテレビ番組を題し出すと、室内はビデオの引き継がつた映像なのに、屋外は16ミリ。子供ながらに「これは全然つながつてない」と感つたつゝで、ホカホカ〜ハグに感じたんですね。で、「Let Forever Be」も半分はビデオ、半分はフィルムで撮つて、そつは見えないようになつた。

ここにはもうひとつ重要なアイデアがあるんですね。七、八〇年代のビデオ、エフェクト——映像が万華鏡のようになつた

Michel Gondry

The works of Spike Jonze



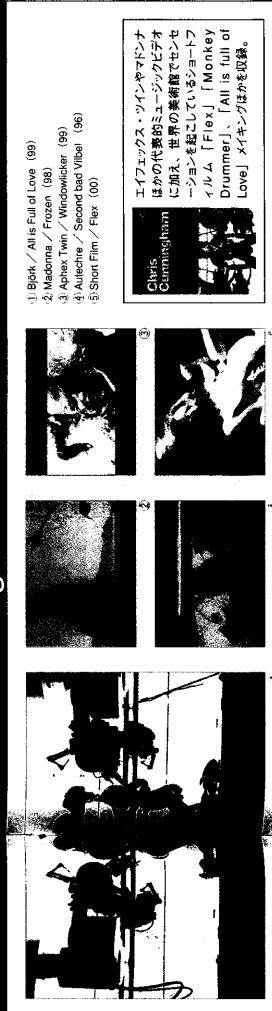
きに腰じついた。とにかくハブルで、編集もボスアロも要らないけど、一発撮りだから大変。わずか12秒くらいの撮影だけだけど、ストレート、スタジオ、エキストラが一秒ひと回をするのが決まってる。せすがに腰もナーバスになつて、ストレートは頭張つても、僕ら撮影隊がうまくいかなかつたりもした。なにしろ一箇所でもうまくいかなかつたら、金部合算しだからね。

このビデオに限らず、ロケ地を考えるど、運はいつもSAのストリートが思ひ浮かぶ。これがやすべつ、クリアを運転したり、スケートボードで駐車場をぶらついたり、と、すこぶん長い時間を過ごしたからな。だから街中のケリラ撮影ができるし、ストリートがまるで大きな遊び場みたいに自由に盛りられるんだ。それはWAXのとももそうだし、ピヨークのビデオもそうだ。

「It's Oh So Quiet」のビデオを撮ることになつたのは、ピヨークのレコード会社から。それと「Hyperballad」が送られてきて、どちらの映像を作りたいか訊かれたんだ。「Hyperballad」はどうやら美しい自分で映像をつけだらんと思った。でも「It's Oh

Spike Jonze

Chris Cunningham



まつたんだけど。最初は、たくさんの人形が砂漠にあつて、マドンナのからだから作つたりアルな像が一瞬にして崩れ落ちるなど、それが遡に変わり、さらに次に変化する。殺風景な背景とトドハナビ、いろいろな形に変化する黒いドレスだけで、ほかの要素を排除できなかど考へていた。「いくつつかの映像」で「ひとつアドア」を探るという感じだ。結局は、断片的に撮影したものをつけ合わせ、なんどなくもとの全画面に似たものを併せるといつたんだけ。このビデオを作つたあとも遡むかんだけだよ。腰の中にあるイメージがあいまいすぎて、首尾一貫したものを作成できなかつたんだじやなかつた。

あの衣装については、その年のシャハニ

ボール・ゴルチエが、素晴らしく美しい

ドレスのコレクションを手がけていて、そ

のドレスを撮つてもらうかアドハナに訊

かれただんだ。僕としては、せかうう感じ

で、ある日の午後をまるまる使って、ドレスを企画してみた。僕が求めていたのは、コシックとショノ・W・ウォーターへのウスの混合物みたいなものだ。彼の絵画は僕のバシショノの腰のひとつなんだ。じん

Chris Cunningham

Michel Gondry



り、アサガオの形に開いたり、トイドバック・エフェクトに見える效果を、振りつけだけで再現したいと思つたんです。物語は普通の生活を送る女の子がいて、ある朝、彼女が寝坊して化粧品屋の仕事を選ぶ。でも彼女の心は、自分がダンサーである空想世界に引き寄せられていいく。その世界は七つもつて、それぞれの空想のシームに入る。本物のダンサーを使つてリアルタイムで彼女の姿を増殖させ、ビデオ・エフェクトのもうにしませんだ。実際にビデオ・エフェクトを使つたのは、現実世界から入力ビデオ・エフェクトに変わるものあいだをつなぐモード。一人のキャラクターが複数に変容するところが、映像が万華鏡のようになるところがシームで接続したのです。

*
「Star Guitar」のビデオは、弟のオリヴィエと一緒に作りました。アドア自体は昔から持つてらたもので、最初は、窓の灯りがメロディシリカロして、灯したり消えたりするものを考へていました。

Michel Gondry

「So Quiet」を聴いた瞬間、ものたりアーティストのアイデアが浮かんでいたんだよ。しかもそれが完璧すぎるくらい美しいと思えてきて……」(吉川ひづる)吉川ひづるは電話でそのアイデア——歌のあいだは現実の世界がゆっくりと進み、かじこにならぬじてピードアラフとして彼女のファンタジーの世界になる——と説明したら、ピヨークが「やけにやりもしちゃう」と言ってくれた。彼女にも「僕らが作るものとのメッセージが耳からんだんだね。ピヨークはすこし直感的な人なんだ。

六

ダダメ・バハクの「コトオホ」やもじりに「アルコウイチチの穴」の前部戯とちう鐘じだ。あの「コトオホ」は「アルコウイチチ」の一年半前に撮影しただけだ。その屋はわつチャーリー。カウフマンと脚本を繰り抜めていた。二〇一〇年一月の街をいかにから少ないう光景で撮影するかじか、じかに自然な感じを出せるのを考えて著てある。そのナッシュ・シユールな事物を、あくまで自然に描写する、という課題が頭の中にはあったんだ。

「Da Funk」という曲を歌って踊るだけでも、彼らはまだコロニーを出たくなかった。有名な存在だった。でも少し歌を歌おうがあつたね。僕が感じたのは、あの曲をかけてながら十四日の夜に長くお水手達に行つたら自分のハーバークームに帰らなければならぬ気がね。やめ籠ひを出つたので、

わやかに骨折している大人顔立ちのキャラクターを考えたんだ。で、そのコントを持つて、「SIAに現在中の一人に会つたんだよ。僕より四歳が五歳者とかつたにも関わらず、すごくクールで、冷静だっただ。彼らは自分たちがどうやってビシリドームでアルバムを作り、ソロード会社に丸売りはせず、権利は自分たちで持つているわやつらがとにかく語ってくれたんだ。出版権も持つていろし」としておも自分たちのお金で作つて、その権利も持つ。音楽ビジネスにまわれるうまい! 音楽を作ることが気の渾入る作業にならないうまにしてつたんだ。その考え方にはハシともせられたね。彼らは僕のアイデアも氣に入ってくれたみたいだ。

僕はいつも逆から考ふるのが好きで、例えば、もしもある曲が何かの映像と合わせて

*

「アドシトコラボ」をキヤメハタリした
「What's Up Fatlip?」は、わりかしごと
ジジクビビオのつもりで振り始めた。撮影
プランは、ただ毎日彼の家に行つて、一緒に
にアイデアを考えるというものだ。彼がす
くなくなりドライブだからて知つていただけ
ど、一緒にいきなまえすれば何かアイデアが出
てくるよ」と、アドシトコラボの名前を付けて

Spike Jonze

なに見ていっても綺きる」とことがない。力強くて夢のやうな雰囲気があるし、有史以来描かれたあつとも美しい女性は、彼の手によるものだと思ってる。

これまで「Frozen」を譲る作品集にはずっと入れなかつたのは、モーハム・ロハーパーの部分をカットしてしまひたからだ。あのショットは、どれも氣に入つてない。よくないんだ。撮影にどれだけ手間がかかつたかはどうでもいい。ただ彼女が妙漫でコートを着て歌つたり踊つたりしている様子を撮影して入れておくべきだつた。でもしロード会社もアドンナも、あのショットは残すべきだとし言はつた。金もかかつてしまつた。で、その経験から、もう一度ビデオクリエイターストとは仕事をしならざつめた。そういう判断は業者が下すべきものだからね。

その後、ヒューリックス・シハイの「Windowlicker」を作つておらは、ヒューリックスでもちつやん腰脇クリエイターとしての知名度は上がつたみだらうね。でも大物ヒューリックスによるるねヒューリックスを勝てることは、業にはやめなう。アシハナのヒューリックスの依頼を受けたのは書畫室本舗で、エキハナヒューリックスではあつた。で、一回それをやつて、本当にやつたらのせ、シマユリがたしかな連中とか自分が好きをな者のためにヒューリックスを作るはじめて氣づいたんだ。

*

あるじかガーラフレハイで聴書で旅に行つたあい、ケンカル・ドライバーの曲を受け取りました。そのじか聴書の歌から見た景色にトースペイアセれて、これで申のトーンがやメロディを緊張して、歌謡と組み合わやせば、宮殿につまむねにじる歌だ。一部はハニカムで作った箇所をわざりおゆき、せひやく和音、歌詞から撮した映像を嵌つてみました。それがCGには「アリオ」や「じかかわせ」などない、何か新しい映像に見えるもうじますために、若からして西方のトクリックを組み合わせました。曲中のひらひらのトクリック部分を取り出し、繋ぎた映像と組み合わせて、映像がループする箇所は、いろいろな楽器どうしで、繰り返し見られる映像の音を耳つけ出しました。例えはラムの新しい家の映像をシルクロセヤたり通り渡る聴書と合わせたりなどです。

*
進化の歴史を見ると、手ひとつのは、理
境に合わせてやじらか效果的に形を変
てるも詮分じやないでしょ？ イルカは
哺乳類で最も早く進化したが、ヒトに并の上
うな構造が残っています。カハガルーの子
は、恐ろしいそのようです。退化し、小や
くなつてしまつたのです。ヒトの耳は……
口・フロウハウに腫脹して進化した（無）
はそれがヒト世代ですから、ヒトにはヒト
物事を組み合わせ、ゼロからアライアを組

樂でもやうやうになつたと思ひます。」
英國の體操選手、川村一郎、トーマス

九年半には、ピマークの「All Is Full Of Love」を作ったのも、ピマークと同じく、
「ハント・オハドコーネ」譜寫する所で、レシターが船員船員の如きを作つて
いるアーチストだから、最初はやりたくないかつたんだ。彼女が僕に譜寫を持って
て譜寫したやうも、止めたりう、「シェル」に
書かせもうと思つていた。ただでさえこう
ピティオを作るのは大変なのに、彼がやり遂
げたことの書込みを音質しながらピティオを
作りたうことは思ひなかつても、でも曲を聽いた
ら、すくなくハスキーでやれて、それおやじ
着えてらうだとは胸腹にやさしくひがひが
にか響うといひがでやるやう感じたやうだ。
あの歌謡について、樂器がわざわざ「ア

「一」からアートホールを駆けだす轟うつて
る人もちらむだらうかど、それがねわかにま
ちやがる轟野だね。轟は「ダ」の口長
シト。トキトキハには「印鑑わしてらな
シ」口ハドトキ鑑を睨みにいわなら。轟は
アリマニコクスのトキトキハしてらだせ。
キューピークシトキトキハ鑑を睨みにいな、むし
る「2001年世界大旅」だ。彼が日本S
Aから説教を取ぢたし想むれるトキトキハ
のヤハズサ、ヤハズサは世界にどうかトキト
キトキに説教をゆべてらす。「HTコトハ」
も「THX-1138」も「バタ・カホーズ」も
そうだ。皆がトキトキハスコトア。トキトキ
ハスが説教しつらうむ壁。自動車工場の

ピクセル化された場面はひとつもありません。すべてのショット、すべてのフレームが手作りだったので、一ヶ月以上もかかってしまいました。

*
カトリー・ミーハークの「Come Into My World」は、道を歩くながら歌うカトリーをローハムシードで捉えた映像が基本になっています。静社会の一角で、其の物語をじっくりアシッドしたカトリーが、歩道を歩き、道を渡り、クルマや人の脇を通り過ぎる。カトリーはそのあいだ、動きも顔影そのものも止めず、カトリーを先導していきます。彼女の周りの街の様子が見えてくると、お店で果物を買つ人々やかかる子供たち、ベン

ルーはなしで、可能な限り何日も使ってアイデアが出てきたらそれを撮るというふうにやりたかった。ただ撮影を始める一一三日前に気がついたんだよ。自分のビデオ。カメラには高性能のアイクもついているし、もともと俺にはいろいろな質問をしてみようと思った。ならばそれを撮ってみよう。で、質問を繰り返すうち、彼は全部を告白してくれるようになつた。彼も自分の重たい体験を、話すことでも昇華しようと思つていただみたいだ。

雑誌の仕事を長じあらひだやつていただるが、その点で後に立つたと想う。だれかは日本タピオーに行って、その相手を理解して、記事にまとめるならどうつけなうといふのは、ビキノンタピオーと共に興味に留まらるが、興味がある人に会うのは、業はううだつて好きだ。たらしく興味もない人にひいて書くと、記事はだいたい一般的なものになる。それはビトオドやと同じで、自分がビハシにならアーチストのために作つたビトオドは、こうやらになつたりとせりやくにならう。ビトオドのアーティスチックを氣に入つてしまつたり、ハハニのうじが好きでや、しかしはうまくから合わねば譲名もあるけじね。

なデザイナーが僕は大好きで、だからヨーロッパから“白い天国”みたいな映像を、という依頼があったとき、それは唯一僕にできる感じたよ。

その後、HDTVシネマ・シアターの「flex」で、僕は再びアブストラクトな映像に復帰した。今度はシングルのビデオを作る peny やなく、僕がリチャードにテーマを語って、曲かサウンドトラックを作りながらももうう。それで音に合ったように映像を作つてしまふ。もちろん他のアーティストをリチャードに相談してらがいいが、ギャラリーからの僕の短編をフライナースしたいというオファーがあるたんだ。この作品で、僕はアブストラクトな解剖学的な映像を作つてみたかった。脳に合じやアーティスト、多量の血、筋肉、激しい呼吸、精液、これらがすべて夢のような漆黒の空間で起るんだ。

でもオウタカのとも同じく、僕は絵画的で抽象的だけど、直接的な表現につながるなしビジュアルを作ろうとしていたのかも知れない。この作品の、特に最初の部分は、完全に思ひ通りにできただと思つ。その部分が、抜絞されてロッロに収録されてゐるよ。

チでキスを交わす恋人たち、壁に広告を貼つている業者、うろついてる大と自転車などがカメラに写りこんでくる。

道を何本か渡つて角を曲がるど、カイリーは一分前に自分が出てきた店の前にまた戻ります。ところが一分前のカイリーが、同じ洗濯物を持って、同じクリーニング屋から出てきて、僕らが先導していたカイリーの後ろを歩き始める。彼女の後ろでは、果物を買っている人も二組になり、子供たちも同じもう一組の隣で佇んでいた。恋人たちも倍になつて……と、みんなが一周目と同じことを繰り返しながら、隣で一周目に入つた姉さんの行動をしてゐる。ちらにカイリーが三周目に入るど、まだもや最初のカイリーがお店から出て来る。

基本的にはカイリーが一回するアートに、全部の登場人物が増え、街の振りつけはどんどん複雑になつてきます。カイリーがいつも同じ出発点に戻つてくるのは、遺留的眼くなるような反復性の反映です。曲の幾何学性によって、曲の同じ部分で毎回カイリーが道の同じ場所に現れるようになります。ですから、同じ場所で毎回全部のカイリーがコラスを同時に歌えるんです。

Wax 《California》

im gonna move to southern california
got me a ride
and a reason to ignore you
got me a radio
aint got no speakers
aint much use
so im leaving it
leaving it for you
im leaving it for you

could be by for you

gotta find a room
and im running out of money
staying out late
but i gotta get up early

why did i move to southern california?
smile gets so blue
someone shoulda warned you
they shoulda warned you

could be by by
could be by for you